

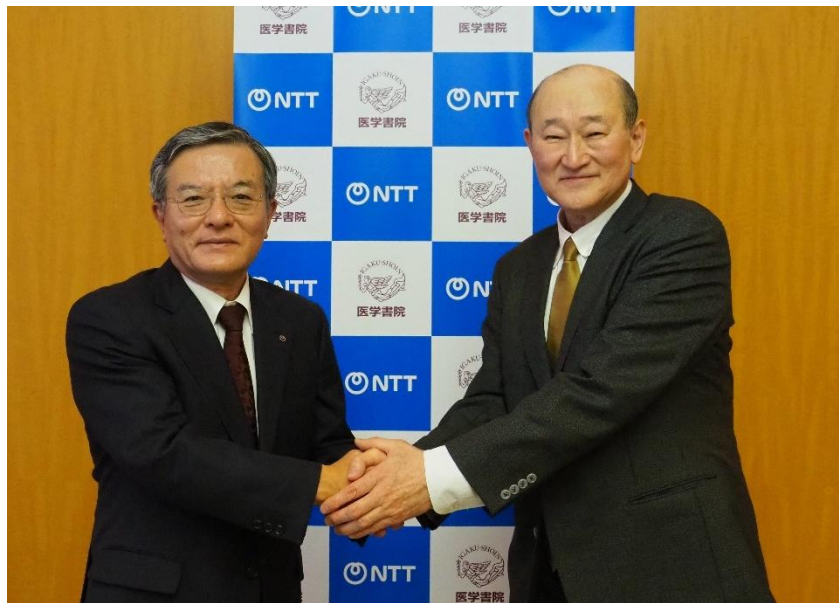
(報道発表資料)

2026年4月16日  
株式会社医学書院  
NTT株式会社  
NTTドコモビジネス株式会社

## 医学書院、NTT、NTTドコモビジネス、 純国産の医療AI情報プラットフォームの共同開発に向けた協業に合意

すべての医療従事者と患者に「信頼性のある医療情報」を届けるために

株式会社医学書院（本社：東京都文京区、代表取締役社長：金原 俊、以下「医学書院」）とNTT株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：島田 明、以下「NTT」）およびNTTドコモビジネス株式会社（旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島 克重、以下「NTTドコモビジネス」）は、医療AI情報プラットフォームの開発を通じて、医療の発展に寄与することをめざし、協業基本契約を2026年4月16日に締結しました。



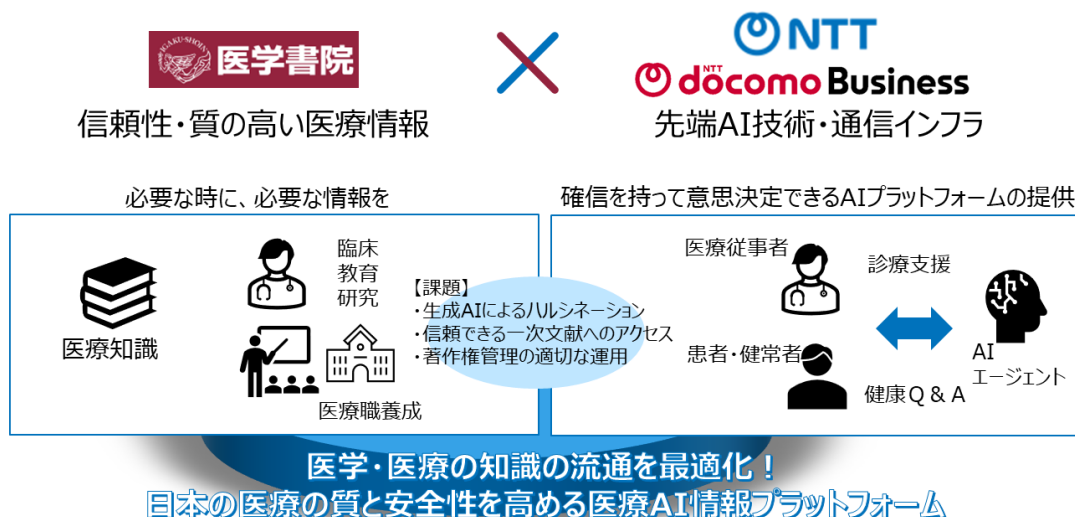
NTT 島田明社長（左）と医学書院 金原俊社長（右）

### 1. 協業の背景と目的

日本では、医療資源の不足・偏在や医療従事者の業務負荷の増大を背景に、医療体制の持続可能性

が深刻な課題となっています。AI 技術を活用した医療現場への支援に対する期待は高まっていますが、その一方で、ハルシネーションによる誤診のリスクや、AI による患者情報の不適切な収集といった懸念などがあり、医療現場での本格的な活用には慎重な対応が求められています。

医学書院は医学・医療分野における日本国内最大級の出版社であり、臨床・教育・研究の各領域において長年発信・蓄積してきた膨大かつ極めて質の高いコンテンツを有しており、NTT グループは AI・セキュリティ・通信インフラ分野で培ってきた先進技術を有しています。本協業は、両者がそれぞれの強みを融合して医療 AI 情報プラットフォームを開発し、社会に提供することで、患者のプライバシーに配慮しながら、医学・医療の知識の流通を最適化し、これらの知識を必要とする方々が正確かつ効率的にアクセス可能とすることを目的としています。それにより、日本の医療の質および安全性の向上に寄与することをめざしています。



医療 AI 情報プラットフォームのイメージ

## 2. 協業の主な内容

医学書院が各領域の専門家である先生方にご執筆いただいた医学・医療分野における最新かつ質の高い医療情報に基づき、科学的根拠に裏付けられた回答を提供する医療 AI 情報プラットフォームの共同開発を行います。

本医療 AI 情報プラットフォームでは、検索拡張生成（RAG）等の技術を用いて当該医療情報を参照しながら回答を生成できる仕組みを構築するとともに、当該医療情報を NTT の大規模言語モデル「tsuzumi 2」に学習させ、医学論文などの公開データを学習した医療特化型 LLM とは異なる、日本の医療情報を体系的に学習した純国産 LLM をめざします。

こうした取り組みを通じて、インターネット上の真偽が不確かな情報に依存することなく、出典が明確な医療情報を提示することで、医療現場において AI を安心してご利用いただける環境を提供します。

### 3. 各社の役割

#### 医学書院

長年にわたって発信・蓄積してきた医学・医療分野の専門知識・定評あるコンテンツ群・編集ノウハウを生かし、医療従事者が安心して活用できる最新かつ質の高い医療情報を提供

#### NTT および NTT ドコモビジネス

NTT グループがこれまで培ってきたネットワーク・セキュリティ・AI 技術を活かし、医療領域で安全に医療 AI を利用できる技術・ノウハウを提供

### 4. 今後の展望

本協業をもとに医療 AI 情報プラットフォームを開発し 2026 年度内に商用展開を開始、将来的には 300 億円の売上をめざします。医療 AI 情報プラットフォームを通じて、医療従事者が信頼性の高い医療情報にアクセスすることを容易にし、常に最新の医療情報を参照しながら業務を遂行できる環境を提供します。また、医療 AI 情報プラットフォームをベースとした AI エージェントシステムを構築し既存の医療系業務を効率化することにより医療従事者の業務負荷の軽減を図ります。さらに、患者一人ひとりに適した個別化医療・ケアの提供や、個人ごとに最適な健康管理法の提案など、医療 AI 情報プラットフォームを中心とした医療情報システムが、すべての医療従事者・患者にとって、医療の質と安全性を高める社会基盤となるべく、開発を進めます。

### 5. 各社コメント

#### 株式会社医学書院 代表取締役社長 金原 俊

当社は創業以来、一貫して医学・医療専門出版社として研究や臨床に携わる方々、そしてそれを志す学生の皆さんに、各領域の第一人者の先生方にご執筆いただいた最新かつ信頼性の高い医学・医療情報を、書籍・雑誌や電子的な伝達手段で提供してまいりました。近年、医学・医療分野においても AI 技術が社会実装の段階に達しつつありますが、この時期に日本を代表する企業である NTT 様、NTT ドコモビジネス様と医療 AI 情報プラットフォームを共同開発することは、先生方からお預かりしている貴重なコンテンツの意義をさらに高める上で、またとない機会と捉えています。この新たなかたちでの取り組みにより、「医学・医療の発展と社会の福祉に貢献する」という当社の使命を、より高い次元で果たしてまいりたいと考えています。

#### NTT 株式会社 代表取締役社長 島田 明

長年にわたり医学・医療専門情報を出版されてきた医学書院様とともに、医療体制の持続可能性確保という課題を解決し、社会貢献につながる取り組みに参画する機会を得られたことを大変光栄に思います。本協業により、当社の tsuzumi をはじめとする LLM 基盤技術と医学書院様の有する医学的コンテンツを組み

合わせて新たな価値を創出することで、すべての医療従事者と患者の皆さまにとって安心して活用いただける医療 AI の未来を切り拓けると信じています。

NTT ドコモビジネス株式会社 代表取締役社長 小島 克重

深刻な医師不足や働き方改革など、日本の医療が抱える構造的課題の解決に向け、医療 AI 情報プラットフォームの開発を進めています。信頼ある出版データを有する医学書院様と連携し、AI およびプライバシーに配慮した安心安全な情報利活用を実現する NTT グループの技術力を生かすことで、日本の標準治療に即した医療 AI 情報プラットフォームの実現をめざします。医療現場の負担軽減を支援し、日本が世界に誇る質の高い医療を誰もが享受できる未来の実現に寄与します。

**本件に関するお問い合わせ先**

株式会社医学書院

経営企画室

E-mail : cp-alliance@igaku-shoin.co.jp

NTT 株式会社

広報部門

E-mail : ntt-pr@ntt.com

NTT ドコモビジネス株式会社

報道機関からのお問い合わせ先

経営企画部広報室

E-mail : pr-cp@ntt.com

本件に関するお問い合わせ先

ビジネスソリューション本部 スマートワールドビジネス部

スマートヘルスケア推進室

E-mail : sh-ai@ntt.com